

林野火災の予防に関する注意喚起

冬から春にかけては空気が乾燥し強風が吹きやすいことや、春の登山やトレッキング、ハイキングなどで入山者が増加することにより多くの林野火災が発生する傾向にあります。

林野火災は、一度発生すると急速に拡大し、消火活動が困難なうえ、人命や家屋などへ危険を及ぼすことになります。

また、貴重な森林資源を大量に焼失し、その回復には長い年月と多くの労力が必要となります。

林野火災は、人のちょっとした火の取り扱いの不注意が原因で発生しています。

登山者の皆様におかれましては、お一人おひとりが、次のことに十分注意してください。

- ▶枯れ草などのある火災の起こりやすい場所では、たき火をしない。
- ▶たき火など火気の使用中は、その場を離れず、使用後は、完全に消火する。
- ▶強風時や乾燥時には、たき火、火入れをしない。

(火入れを行う際は、許可を必ず受ける。)

- ▶たばこは、指定された場所で喫煙し、
吸い殻は、必ず消すとともに、投げ捨てない。
- ▶火遊びはしない。